



○キャッシュレス決済について  
経営管理課スタッフより説明

<質疑応答>

**【平成30年度上下水道事業の決算(見込み)について】**

(委員) 水道事業の投資的費用で、検漏メーターを8年ものから7年ものへ取り替えてきたとのことですが、今後はずっと7年で取り替えていくということで、家庭の水道メーターの取替は7年になるということで良いか。

(説明員) 良い。

**【内閣府補助事業の調査結果について】**

(委員) 包括化について、段階を踏んでというお話であったが、それについて詳しい説明はあるか。

(説明員) 包括化については、今後の取組の方策として、第1段階から第4段階まで想定される段階を示しているが、まずは第1段階の包括化委託の内容を進め、第1段階が可能であれば、今後第2段階の検討が必要かどうかを考えていきたい。

(委員) まだ決定しているわけではないのか。

(説明員) 決定しているわけではない。

**【恵庭市総合防災訓練の実施について】**

質疑無し

**【キャッシュレス決済について】**

(委員) 口座振替に代わるクレジットカード決済とは別に、家に徴収した時にキャッシュレスで決済するというのが前提の話か。

(説明員) そうです。外出してコンビニで支払ったりしなくても、自宅にいなから決済できるということを目的として考えている。

(委員) 国の施策として、消費税増税に伴うポイント還元などもあり、既にこういった制度がはじまっている。実際の利用頻度がどうかというと、クレジットカードとデビットカードが最近ようやく普及してきていると感じるが、QRコードについては、まだこれからというところである。ただ、国が力を入れているというのもあり、急速に事業所でQRコードが使えるところが増えているというのが、ここ3、4ヶ月で感じているところである。自宅にいなからというと、費用が掛かるとは思うが、水道事業で何かを選ぶのではなく、全てのサービスが利用できるようになっていて、消費者が選べるというのが消費者にとっては良いのではないかと思う。

(委員) コスト面はどうか。

(委員) 事業所としては、QRコードがおそらく一番コストが低いのではないかと思う。キャッシュレス決済をやっている会社と事業者との間の個別交渉で

あるが、一般的に一番力を入れている QR コードがクレジットカードより優位であると感じている。

(委員) 支払いやすくなることはとても良いことだと思う。水道料金を支払っていない人がどれ位いるのか知りたい。もし支払っていない人が、便利になることで支払えるのなら、導入したら良いと思う。

(説明員) 具体的な人数については資料が手元がないが、水道料金の収納率は現年度分が 98%、過年度分も含めると 96.5%となっており、支払っていない人が 3.5%位になる。

(委員) その 3.5%の人が支払うことによって、キャッシュレス決済の費用が賄えるのであればやっても良いのではないかと思う。

(説明員) キャッシュレス決済を進めることによって、収納率の向上に繋がるかということと不透明なところがあり、どちらかということと利便性の向上に繋がるものである。

(委員) それぞれコストは異なるが、例えば口座振替にしたら割引するだとか、水道料金に反映しているパターンとしていないパターンがあると思うが、近隣の状況はどうなっているか。

(説明員) 近隣に割引の話は聞いていないが、全国対象の会議ではクレジットカードを導入するとポイントが付くということで、口座振替からクレジットカードに移行するという話がある。クレジットカードは手数料が 1%でありにも高いため、口座振替に誘導しなくてはならず、口座振替の人に割引を適用しているところがあると聞いている。

(委員) 手数料はクレジットカードを利用していない人も負担していることにもなるか。

(説明員) そうなる。恵庭市は納税でクレジットカードを利用できるが、手数料はカード利用者の本人負担となっている。水道料金については、カード会社が本人負担という取り扱いをしておらず事業者負担となるため、利用しない人も含めて広く費用を負担することになる。

(委員) QR コードも手数料はクレジットカードと同じか。

(説明員) 手数料は契約の仕方によって変わってくる。コンビニ収納は収納代行会社が行っているが、収納代行会社が Line Pay と契約している場合は安く済むが、事業者が直接 Line Pay と契約すると高くなる。

(委員) 口座振替以外の人は何れ位いるのか。

(説明員) 約 25%である。

(委員) 消費税が上がるということでアンケートをとったが、高齢者の方はキャッシュレスに関して、いまいちの反応である。市でキャッシュレス決済が可能になると、若い人はポイント還元などがあり良いと思うが、高齢者にとつ

て直ぐに利用するというのは難しい。時代の流れがあるため、若い人が利用していくうちに浸透していくとは思いますが、高齢者も勉強していかなくてはならないと思いつつも、直ぐに利用するというと難しいところだと思う。

(委員) 口座振替が 75%との話であったが、残りの 25%はどういう方法で支払っているのか。

(説明員) ほとんどはコンビニで支払っている。口座振替以外の人には納付書が送られてくることになるが、その納付書でコンビニか金融機関、郵便局で支払われる。

(委員) 事務手続きのコストは口座振替より高いのか。

(説明員) コンビニ等の方が高くなっている。

(委員) 口座振替への誘導キャンペーンみたいなことはやっているのか。

(説明員) 今のところはやっていない。他のことを始めてしまうと口座振替から他に切り替える人が出てくるため、そういう人が増えてくると今後は口座振替へ誘導していかなくてはならないかもしれない。

#### ○恵庭市水道ビジョン・経営戦略の改定について

※経営管理主査、工事課長より説明

#### (8) 議事

<質疑応答>

##### 【恵庭市水道ビジョン・経営戦略の改定について】

(委員) 人材育成に係る項目は今回の改定に伴って記載されるのか。恵庭市上下水道一体の事業診断による経営の効率化推進調査委託業務の概要版において、処理場の職員は 50 代 60 代の職員が 1 名ずつで、今後は、処理場の維持管理に係る委託の監督や運転管理に関する技術を継承していく必要があると書かれており、また恵庭市水道事業経営戦略では、浄水事業所で行っていた配水池管理業務の一部を水道企業団へ委託するなどしたことで、さらに技術の継承が懸念されるところと記載があるため、このままでは人材不足に陥ることが明らかだと思うが、具体的な方針が示されていないため、そのようなことが今回の改定では具体的に盛り込まれるのか。

(説明員) 現行の水道ビジョンの中でも、持続の観点からいうと技術者の確保について施策概要を載せている。今後の技術者の技術継承や確保の問題があるが、今回の見直しする水道ビジョンに関しても安全・持続・強靱の 3 つのテーマがあり、具体的な施策内容はまだ決定していないが、その観点からも持続の中に技術者の継承という部分が大きく盛り込まれる形になると思う。

(説明員) 今回の水道ビジョンの改定について、厚生労働省の手引きがあり、手引きに沿って策定を進めていく。国も新水道ビジョンを策定しているが、その中で、内部環境の変化として職員数の減少というのを問題視しており、それについても検討して水道ビジョンを策定するように手引きでなっているため、その点を含めて検討させていただきたいと考えている。

